

入院の
しおり

01 当院について

病院概要

法人名：医療法人 せいわ会 名称：登美ヶ丘リハビリテーション病院 標榜科目：リハビリテーション科
病床数：122床(41床×2病棟 40床×1病棟) 病床区分：回復期リハビリテーション病床

理 念 「自分らしさをとりもどす、精一杯のお手伝い」

回復期リハビリテーション病院とは

病気やケガの治療がひと段落したあとに、安心して家に帰ることや、職場復帰を目的としたリハビリテーションを集中的に行う病院です。

リハビリテーション専門病院だからできること

当院では、脳卒中や骨折等された患者さまに対し、一人ひとりに合わせた、最大限の運動量と効率のよい、最適なリハビリテーションを提供します。

入院対象

	疾 患	入院 上限日数
1	脳血管疾患、脊髄損傷、頭部外傷、くも膜下出血のシャント手術後、脳腫瘍、脳炎、急性脳症、脊髄炎、多発性神経炎、多発性硬化症、腕神経叢損傷等の発症又は手術後、義肢装着訓練を要する状態	150日
	高次脳機能障害を伴った重症脳血管障害、重度の頸髄損傷及び頭部外傷を含む多部位外傷	180日
2	大腿骨、骨盤、脊椎、股関節もしくは膝関節の骨折又は二肢以上の多発骨折の発症後又は手術後の状態	90日
3	外科手術又は肺炎等の治療時の安静により廃用症候群を有しており、手術後または発症後の状態	90日
4	大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は膝関節の神経、筋又は靭帯損傷後の状態	60日
5	股関節又は膝関節の置換術後の状態	90日

02 みなさまに関わる当院のスタッフ

医師



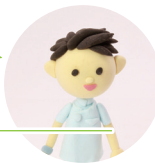
入院中の全身状態の管理、リハビリテーション治療の処方を行います。また、リハビリテーション医とは病気や外傷の結果生じる障害を医学的に診断治療し、機能回復と社会復帰を総合的に提供することを専門とする医師です。

看護師



日常の看護とともに療法士と連携して、実際の生活場面において、自分でできる日常生活動作を行うための支援をします。

介護士



看護師と連携して、日常の介護を行いながら、出来るだけ自分でできるような環境づくりを行います。

理学療法士 (PT)



起き上がる、立つ、歩くなどの動作ができるように、装具なども利用しながら、運動機能のリハビリテーションを行います。

作業療法士 (OT)



食事、トイレ、更衣動作といった日常生活に必要な動作の訓練や、上肢の機能訓練を行います。また、理学療法士とも連携しながら、退院後の生活を想定した福祉用具、家屋改修プランの提案を行います。

言語聴覚士 (ST)



言葉の障がいや、声や発声の障害、食べる機能の障害に関して様々なテストや検査を実施し、評価をおこなった上で、練習、指導を行います。

歯科衛生士



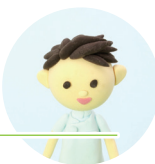
口腔内を清潔にして感染症を防ぐことはもちろん、摂食、咀嚼、嚥下といった口腔の機能訓練を目的とした「口腔ケア」を行います。

医療ソーシャルワーカー (MSW)



入院についての相談や、病気や障がいによって引き起こされる生活上のご相談に応じます。介護保険、その他さまざまな医療福祉制度、社会資源を活用できるよう支援し、日常生活に戻るためのコーディネートを行います。

薬剤師



医師から処方されたお薬の管理を行います。また、必要に応じて、お薬についての相談もお受けします。

管理栄養士



入院中の食事の栄養管理、献立の立案などを行います。また、退院後の食事についての相談もお受けします。

放射線技師



医師の指示を受け、X線撮影などを行います。

事務員



入退院における事務手続き(入院費のお支払い、各種書類の受付など)を行います。

03 入院手続きに必要なもの

- ①保険証・おくすり手帳・介護保険者証・身体障害者手帳
- ②印鑑(本人及び代理人)
- ③入院申込書
- ④リース申込書
- ⑤保険外負担に関する同意書
- ⑥家屋状況についての調査票(※必要な場合のみご提出いただけます)

※③、④、⑤はあらかじめご記入ください。
※保険証は月初めに必ず窓口にご提示をお願いします。
※印鑑はシャチハタ以外をお願いします。
※「代理人」は入院中の連絡の窓口になっていただける方をお願いします。
※保険証、介護保険証、診断書などは1階受付へお渡しください。

04 入院生活に必要なもの

- ①日中着(運動に適した服装)
- ②パジャマ
- ③下着
- ④靴下
- ⑤バスタオル(1回の入浴で2~3枚使用します)
- ⑥フェイスタオル(1回の入浴で2~3枚使用します)
- ⑦お風呂用ボディタオル(体を洗うタオル)
- ⑧入浴準備バッグ、汚れ物用バッグ(洗濯物を入れるもの)
- ⑨歯磨き粉、歯ブラシ、コップ、義歯洗浄剤(義歯の方のみ)
- ⑩水筒、蓋付きコップ
- ⑪食食用エプロン(必要な方のみ)
- ⑫靴(運動しやすく踵のあるもの)
- ⑬髭剃り(電動式)
- ⑭ハンガー(2~3本)
- ⑮イヤホン(テレビ用、長めのもの)
- ⑯ボックスティッシュ
- ⑰時計、カレンダー
- ⑱ボディクリーム(必要な方のみ)
- ⑲ヘアブラシ(必要な方のみ)

※持ち物には氏名の記入をお願いします。

※オムツ、リハビリパンツ、尿とりパット等の持ち込みは、原則禁止です。

※①~⑥までのものについては、レンタルも可能です。

※①衣類は着脱しやすいもの、また麻痺のある方は前開きの服をご用意ください。

※⑨事故防止および衛生上の理由から、ペットボトルへの配茶はおこなっておりません。必ず、水筒、蓋付きコップをご用意ください。

※⑬ハサミ、カミソリ等については、原則持ち込みを禁止させていただいております。

05 入院費のお支払い

- ▶ 請求時期：入院費のご請求は月末締め翌月10日前後とさせていただきます。
- ▶ 請求方法：入院受付時にご案内させていただきます。
- ▶ 支払方法：病院1階の自動精算機をご利用ください。(8時30分~20時)
 - ◆現金もしくはクレジットカードにてお支払いいただけます。
- ▶ 支払期限：請求書が届き次第速やかにお支払いください。

※入院費の請求内容についてのお問い合わせは、当院医事課までお願いします。

06 入院生活について

●入院中の1日のスケジュール



食事

食事時間:朝8:00 昼12:00 夕18:00
食事制限をしている患者さまもおりますので、外部からの差し入れをお持ちの方は、担当医師の許可が必要です。

入浴

・月曜日～土曜日の中で、原則週2回となります。
・主治医から一人での入浴許可が出た患者さまについては指定された時間内であれば入浴可能です。

面会

・面会時間は8時30分～20時までとなっております(全日)。
・12歳以下のお子様をお連れの方は、1階での面会をご協力願います。

消灯

消灯時間は21時です。緊急時を除いて消灯後のお電話等をご遠慮ください。

外出・外泊

・外出、外泊は主治医の許可が必要です。その際は外出・外泊届を提出してください。
・外出、外泊日も原則、最低1回はリハビリを受けて頂きます。(年末年始を除く)

お部屋の変更

患者さまの病状変化や管理の都合上、お部屋を変更させていただく場合があります。

入院中の 他院受診 について

当院入院中に他院を受診される場合は、必ず受診前に当院主治医にご相談ください。

電化製品 の利用

・お部屋に備え付けのTV、冷蔵庫以外の電化製品を持ち込まれて使用される場合は一度看護師にご相談ください。
・TVをご覧になられる際はイヤホンをおつけ下さい。

携帯電話 の使用

携帯電話のご使用は1階フロア、各病棟のデイルームでお願いします。

貴重品に ついて

現金、貴重品はお持ちにならないようお願いします。病院ではお預かりすることはできません。万が一、現金を持ってくる場合は極少額にして下さい。(自己管理となります)

喫煙について

当院は敷地内全面禁煙となっておりますのでご協力をお願いします。

07 ご理解いただきたいこと

入院期間について

入院できる期間は医療制度上定められていますが(1ページ参照)、これは「必ずこの日数入院を保証する」というものではありません。

患者さまの病状踏まえた上でリハビリテーションの目標を立て、その目標を達成するまでの期間が当院での入院期間となります。

その期間については、医師が専門的に判断し、患者さま、代理人さまにお話させていただきます。

退院基準

- ▶ 当院入院中におけるリハビリテーションのゴール(目標)を達成した時。
- ▶ 以下の状況になった場合はリハビリテーションの途中であっても医師の判断により、ご退院をして頂きます。
 - 他の入院患者さま、来客、病院関係者などに迷惑を及ぼしたり、当院の業務に支障をもたらした場合(大声を出す、徘徊する、職員に対する暴言、暴力、セクハラ行為等)[患者さまのご家族及び関係者によるものも含む]。
 - 医師の指示、院内の規則を守れない場合。
 - リハビリテーションに対する拒否が続く場合。
 - 全身状態的にリハビリテーションの継続が困難と当院医師が判断した場合。
 - 入院費の未納・滞納があり、当院が定める期間内にお支払い頂けない場合。

ご家族さまへ

- ▶ 入院生活は思っている以上にストレスがかかるものです。患者さまが精神的にも落ち着いて、「意欲」を持ってリハビリテーションに励んでいただけるよう、出来る範囲で面会にお越しいただければと思います。
- ▶ 当院ではリハビリテーションをすすめる上で、ご自身で出来ることは最大限行っていただきたいと考えております。出来る限り安全には配慮しておりますが、入院生活を行う上で**転倒、転落の可能性もある**ということをご理解ください。
- ▶ 当院はリハビリテーション科のみのため、当院入院中に万が一お体の状態が急変した場合、近隣の病院へ転院して頂く場合もございます。転院先は、患者さまの病状や、先方の受け入れ状況によって異なりますのでご了承ください。尚、受診、転院の際は**ご家族の付添い**をお願いしております。

08 退院について

- ▶ 退院許可、退院時期については主治医との相談の上決定となります。
- ▶ 詳細の日時については、担当の医療ソーシャルワーカー(MSW)とご相談ください。
- ▶ お持ちいただくもの：保険証、印鑑、退院時精算金
- ▶ 手続き：①お部屋でお待ちください。看護師がお声掛けしますので1階受付までお願いします。
(入院費のご精算と、退院証明書など必要書類をお渡しいたします。)
- ②スタッフステーションにお寄りください。
(かかりつけ医やケアマネージャーへの情報提供書、退院時処方をお渡しいたします。)

09 相談窓口

入院中の疑問、不安事(「この質問はどのスタッフに聞いたらいいんだろう?」ということも含む)、医療費や介護保険、障害者手帳、年金制度といった医療・福祉制度のご相談、転院先や介護施設のご相談などございましたら、地域連携部スタッフまでご相談ください。

(医療・福祉制度などに精通した医療ソーシャルワーカー(MSW)がいます)。

- ◆場所：1階『受付』
- ◆相談時間：月～土 9:00～17:00(日・祝除く)
- ◆地域連携部直通TEL：0742-48-2600

10 個人情報の保護について

- ▶ お預かりした個人情報は、個人情報の取扱いに関する法律及び国が定める指針
その他規範を遵守し、適切に管理・保護します。
- ▶ 取扱いについては、院内に掲げる「個人情報の利用目的及び取扱い」に
定める以外の用途に利用することはありません。
- ▶ また、本人に了承を得ることなく個人情報を第三者に開示することはありません。

アクセスマップ



第二阪奈道路 中町ICより約20分
京奈和自動車道 山田川ICより約10分



最寄りのバス停
「学研奈良登美ヶ丘駅」下車徒歩約5分



近鉄けいはんな線
「学研奈良登美ヶ丘駅」下車徒歩約5分



近鉄学園前駅より約20分

登美ヶ丘リハビリテーション病院
ホームページ

TOMIGAOKA_REHABILL.HOSPITAL
登美ヶ丘リハビリテーション病院
Instagram